

ホールボディカウンタ用P C等更新

仕 様 書

1. 概要

本書は、済生会川内病院被ばく医療施設設置のホールボディカウンタ（WBC-301）のうち、データ処理部（パソコン）およびディスプレイ、プリンタ、ソフトウェアを更新するにあたり、その構成および仕様を記載したものである

2. 構成

データ処理部（パソコン）	2台
液晶ディスプレイ	2台
インクジェットプリンタ	2台
ソフトウェア	1式

3 仕様

3. 1 データ処理部（パソコン）

OS	Windows® XP Professional for Embedded Systems with SP3
CPU	インテル® Core™ i3-3220 (3.30GHz)
メインメモリ	4GB
HDD	250GB×2

3. 2 液晶ディスプレイ

画面サイズ	19型
液晶パネル	TFT カラー液晶 (LED バックライト)
画素数	1280×1024 ドット
表示色	最大 1677 万色

3. 3 インクジェットプリンタ

用紙サイズ	最大 A4
給紙可能枚数	100 枚
インターフェイス	Hi-Speed USB

3. 4 ソフトウェア

①機能（現在の機能からの変更はありません）

自動測定	個人データ設定、BG減算、Bq算出、 スクリーニング判定
スペクトル処理	スペクトル検索、スペクトル表示、スペクトル印字、 核種の推定
測定条件の設定	個人測定用、BG測定用
放射エネルギー算出準備	体幹部用領域：最大5通り設定可能 甲状腺用領域：1通りのみ設定可
核種テーブルの設定	測定対象各種の設定
メンテナンス測定	ゲインチェック：自動ピーク補正
ファイル編集	個人情報の編集
ファイル管理	データ退避、データ復帰、データ消去

4 特記事項

- ①データ処理部のセットアップ完了後、ホールボディカウンタのうち測定装置（スケーラ）を接続しての動作確認を行うこと。
- ②データ処理部の入替時、既設データ処理部に残っているデータの移行を実施すること。